

Discover

大分三愛メディカルセンター 消化器病・内視鏡センター 医療連携機関向け広報誌

2022.07 vol.07

日を追うごとに夏らしくなるこの頃、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

世間では新型コロナの流行も落ち着きを見せており、大分三愛メディカルセンターでもコロナ対応病棟を縮小し、地域包括ケア病棟の運用を再開しております。そういった対応に伴い、一般の患者さまをお受けする体制も再び拡充しているところ です。引き続き、先生方との連携強化に努めて参りたいと考えております。今回の内容は、ERCP困難症例の対応について述べておりますので、ご参考になれば幸いです。

今後も、消化器疾患はもとより、特に胆・膵疾患についての積極的な診断・治療に邁進しますので、お困りの症例等ございましたら、当院へご一報いただければと存じます。

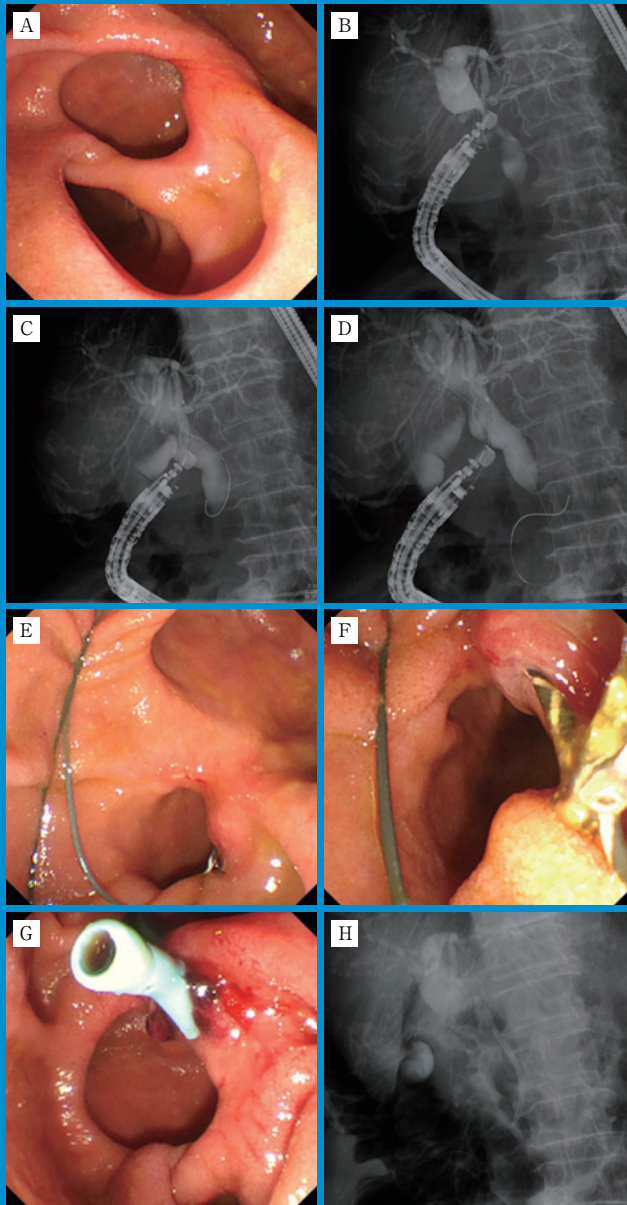
大分三愛メディカルセンター

消化器病・内視鏡センター長 錦織 英史



Discover ERCPカニュレーション困難例に対するテクニック

Case.7 EUS-RV (EUS-guided rendezvous technique)



[80歳代・女性]

・症例

腹痛、肝胆道系酵素上昇のため胆管炎の診断で当院を紹介受診。総胆管の著明な拡張を認め、ドレナージが必要と判断したが、ERCPによる胆道ドレナージを試みたところ、十二指腸の多発憩室のため、十二指腸乳頭部が指認できない状態であった(写真A)。そのため、超音波内視鏡(EUS)で拡張胆管を描出後に穿刺針を胆管壁内に進め、造影剤を注入し、ガイドワイヤーを留置する(写真B・C)。カニュレーションチューブに入れ替え、乳頭部側にガイドワイヤーを誘導。乳頭から順行性にガイドワイヤーが十二指腸内に出ていることを確認し(写真D・E)、ガイドワイヤーを残しつつ、EUSスコープを抜去。ERCPスコープに入れ替え、鉗子でガイドワイヤーをキャッチし(写真F)、通常のERCPをおこなった。この後、胆管ステントを挿入し、胆道ドレナージが成功(写真G・H)。胆管炎は軽快、退院となった。

・考察

ERCP困難症例において手技成功率が高い手技ではあるが、合併症として胆汁漏出、胆汁性腹膜炎などの報告もあり、EUS下の胆道アプローチに習熟した施設での治療が望まれる。胆道ドレナージをなんとしても成功させないといけない症例での、次の一手として重要なテクニックの一つである。

- A 十二指腸に多発憩室 十二指腸乳頭が目視できない
- B EUSで総胆管を描出し、穿刺、造影
- C ガイドワイヤー留置
- D ガイドワイヤーを順行性に乳頭から十二指腸内に誘導
- E 憩室内の乳頭からガイドワイヤーがでているのを確認
- F ERCPスコープに入れ替え、ガイドワイヤーをキャッチ
- G 胆管ステントを挿入
- H 胆管ステントが留置され、胆道ドレナージが成功した

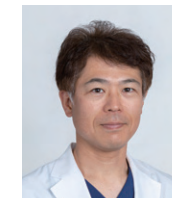
エコー検査で以下に該当する場合、一度ご相談ください。
早期の膵癌の可能性あります。

- はっきり主膵管が見える
- 膵嚢胞がある
- 単純CTで一部分だけ膵実質が痩せている

消化器内科医師のご紹介

当院は指導施設および関連施設に認定されています。

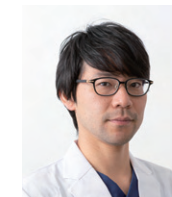
指導施設認定: 日本消化器内視鏡学会、日本胆道学会、日本膵臓学会
関連施設認定: 日本消化器病学会



消化器病
内視鏡センター長
錦織 英史
大分大学卒(2004年)

[専門分野]
消化器内科(一般)
胆膵内科

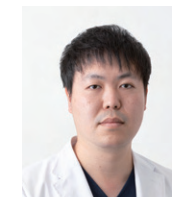
[認定資格]
日本消化器内視鏡学会
専門医・指導医・九州支部評議員
日本膵臓学会 認定指導医
日本胆道学会 認定指導医
日本消化器病学会 専門医
日本内科学会 認定内科医
日本医師会 認定産業医
大分大学医学部臨床准教授



消化器内科部長
佐上 亮太
防衛医科大学卒(2010年)

[専門分野]
消化器内科(一般)
胆膵内科

[認定資格]
日本内科学会 認定内科医
日本消化器病学会 専門医
日本消化器内視鏡学会
専門医・九州支部評議員



消化器内科医師
佐藤 孝生
大分大学卒(2012年)

[専門分野]
消化器内科(一般)
食道静脈瘤

[認定資格]
日本内科学会 認定内科医
日本消化器病学会 専門医



消化器内科医師
久松 朱里
大分大学卒(2006年)

[専門分野]
消化器内科(一般)

[認定資格]
日本内科学会 認定専門医
日本消化器病学会 専門医
日本消化器内視鏡学会 専門医
日本医師会 認定産業医

ご紹介連絡先

ひとに笑顔を ちいさな「愛」を
大分三愛メディカルセンター
地域連携センター TEL.097-542-7404

〒870-1151
大分市大字市1213番地
TEL.097-541-1311
www.san-ai-group.org

